

## 授業展開例（音楽）

1 校種・学年 小学校・第1学年

2 題材名 「ようすをおもいうかべよう」

～ばめんのようすにあったうたいかたができるかな～

「おどる こねこ」（アンダソン作曲）

「きらきらぼし」（武鹿 悦子作詞／フランス民謡）

「はる なつ あき ふゆ」（三浦 真理作詞・作曲）

3 題材について

### 題材観

本題材は、学習指導要領2内容A表現(2)、(3)アに即して楽曲の気分を感じ取って音楽を工夫して表現する能力を身に付けようとする学習である。「おどる こねこ」は、子どもたちに身近な動物として親しまれている猫を題材にした描写音楽である。曲は3拍子のワルツなので、自然に体が動き、楽しみながら自由に場面を想像したり、物語をつくったりすることができる教材である。「きらきらぼし」は古くからヨーロッパで歌われてきた曲で、今では世界中で親しまれている曲であり、本学級の子どもたちも一度は聴いたり口ずさんだりしたことのある曲である。思い浮かべた様子をもとに、歌詞のイメージを生かして表情豊かな歌い方を工夫したり、楽器による演奏の仕方を工夫したりすることのできる教材である。「はる なつ あき ふゆ」は、生き物や自然の様子から四季折々の印象を捉えた歌詞で構成されている。春から夏へ向かっては動きが高まり、秋から冬へは次第に静寂に向かっていくなど、場面の動きの変化を感じさせる教材である。児童が歌詞や写真を手がかりにそれぞれの季節を思い浮かべ、そのイメージに合った歌い方を多様に工夫することのできる教材であると考ええる。

児童観 省略

### 指導観

指導にあたっては、歌詞の一つ一つの言葉を大切に歌詞を繰り返し読むようにし、歌詞の表す情景や場面をとらえることができるようにしたい。様子を思い浮かべにくい児童がいるときには写真や絵などを提示し視覚的に捉えられるような工夫もしていき、それらを手がかりにイメージを膨らませて、児童が「こんな風に歌いたい」「もっと のように歌いたい」という具体的なイメージをもつことができるようにしたい。歌い方を工夫するときには、グループ活動を取り入れて、一人一人の思いをしっかりと出し合ったり、歌声を聴き合ったり、教え合ったりしながら音楽をつくっていくようにさせていく。友だちの工夫した表現のよいところを見付ける「友だちのキラリ発見!」を取り入れたたり、それらを自分の表現に取り入れようとする素直で前向きな姿を評価したりすることにより、子どもたちが関わり合い教え合いながら、楽しくよりよい表現方法を身に付けることができるようにしていきたい。

4 題材の目標

- ・歌詞の表す様子を思い浮かべて、表情豊かに歌い方を工夫することができる。
- ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができる。

5 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	場面の様子を思い浮かべながら、友達と一緒に歌って楽しもうとしている。	情景を想像したり、イメージを膨らませたりしながら、歌い方や打楽器の演奏の仕方を工夫している。	楽曲の気分を生かして、表情豊かに歌ったり、楽器を演奏したりすることができる。	楽曲の気分の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら聴くことができる。
学習活動における具体的評価規準	歌詞の内容に興味をもち、意欲的に歌おうとしている。	歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方や打楽器の演奏の仕方を工夫している。	自分の歌声や歌い方に気をつけ、友だちと声を合わせて歌っている。 速さや強弱に気をつけて歌っている。 拍の流れに乗って、音の出し方に気をつけながらリズムを打つことができる。	様子を想像しながら聴いている。 場面の様子を想像しながら、気分の変化を感じ取って聴いている。

6 指導計画（全11時間 本時 4 / 11 ）

教材	学習内容	評価					
		関	感	技	鑑	評価規準	評価方法
おどるこねこ	様子を想像しながら、曲全体の気分を楽しむ。					様子を想像しながら楽しんで聴いている。 エ -	発言の内容 表情の観察
	場面の様子を思い浮かべて、気分の変化を感じ取る。					場面の様子を想像しながら、気分の変化を感じ取って聴いている。 エ -	発言の内容 身体表現の観察

きらきら ぼし	様子を思い浮かべて1番の歌い方を工夫する。				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ -	発言の内容 歌唱の聴取
	様子を思い浮かべて2番の歌い方を工夫する。(本時)				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ -	発言の内容 歌唱の聴取
	歌に合わせて、リズム伴奏を打楽器で演奏する。				拍の流れに乗って、音の出し方に気を付けながら、リズムを打つことができる。ウ -	発言の内容 演奏の聴取
	楽器の演奏の仕方を工夫する。				歌の気分に合わせて、楽器の演奏の仕方を工夫している。イ -	発言の内容 演奏の聴取
はる なつ あき ふゆ	4つの場面の絵を見て様子を思い浮かべ、聞こえてくる音を想像しながら歌う。				歌詞の内容に興味をもち、意欲的に歌おうとしている。ア - 自分の歌声や歌い方に気を付け、友だちと声を合わせて歌っている。 ウ -	表情の観察 歌唱の聴取
	1番(春)の歌い方を工夫する。				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ -	発言の内容 歌唱の聴取
	2番(夏)の歌い方を工夫する。				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ -	発言の内容 歌唱の聴取
	3番(秋)の歌い方を工夫する。				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ -	発言の内容 歌唱の聴取
	4番(冬)の歌い方を工夫する。				歌詞の内容を感じ取り、それに合った歌い方を工夫している。 イ - 速さや強弱に気を付けて歌っている。ウ -	発言の内容 歌唱の聴取

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

歌詞を手がかりに場面の様子を想像して、「きらきらぼし」の2番の歌い方を工夫することができる。

#### 人権教育の視点

##### 【他人との共生】

友だちと一緒に歌ったり身体表現したりして楽しく活動しようとする態度を育てる。

##### 【人と協力できる技能や態度】

自分の歌声や思いを表現したり，それらを聴き合ったり認め合ったりして，一つのねらいに向かって互いに関わり合いながら解決していこうとする態度を育てる。

### (2) 評価規準

#### 音楽的な感受や表現の工夫

- ・歌詞の内容を感じ取り，それに合った歌い方を工夫している。(イー )

### (3) 準備物

- ・イメージ設計図
- ・教師用キーボード
- ・教師用鍵盤ハーモニカ
- ・譜面台

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
<p>1 既習曲を歌う。 「アルプス一万尺」 「ほっぺうんどうのうた」</p> <p>2 「きらきらぼし」の 1番を歌う。</p> <p>3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>友だちと関わり合いながら歌ったり，身体表現をしたりすることで楽しくて安心できる雰囲気をつくるようにする。</p> <p>姿勢や口の開け方などについて意識できるよう声かけをする。</p> <p>静かな夜空・やさしく輝いているお星様の様子を思い浮かべながら歌うようにさせる。</p>	
<p>場面の様子を想像しながら，2番の歌い方を工夫しよう。</p>		
<p>4 グループに分かれて 歌い方を工夫する。</p> <p>5 グループごとに発表をする。</p> <p>6 全員で「きらきらぼし」 の曲を歌う。</p> <p>7 本時の振り返りをする。</p>	<p>グループリーダーを中心に，一人一人の意見や歌声を大切にしながら練習をさせるようにする。</p> <p>イメージしたことと歌声が合っているか意識できるような声かけをする。</p> <p>イメージ設計図を見せながら自分たちが工夫したところを説明してから表現させる。</p> <p>友だちの発表を聴いてよいところを見つけることができるようにする。</p> <p>どこか1つのグループの設計図で表現してみる。</p> <p>友だちの考えた工夫を取り入れることで自分の表現が豊かになっていくことが感じられるようにする。</p> <p>本時で自分が上手になったことがんばったことを発表させる。</p>	<p>歌詞の内容を感じ取り，それに合った歌い方を工夫している。(イ - )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言の内容</li> <li>・ 歌唱の聴取</li> </ul>